



**令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業**  
**「早寝早起き朝ごはんキャラバン隊」**

**1. 事業の目的（趣旨・ねらい）**

子供たちが健やかに成長していくためには、調和のとれた食事、十分な睡眠が大切であるという考えから始められた「早寝早起き朝ごはん」運動について、県内の小学校等と連携し、継続的な啓発・普及活動を展開することで、基本的な生活習慣の確立を図る。

**2. 事業の概要**

**(1) 期日**

① 1回目

- |          |                |
|----------|----------------|
| 8月31日（木） | 吉備中央町立大和小学校    |
| 8月31日（木） | 吉備中央町立大和保育園    |
| 9月2日（金）  | 吉備中央町立津賀小学校    |
| 9月5日（月）  | 吉備中央町立吉備高原小学校  |
| 9月5日（月）  | 吉備中央町立吉備高原こども園 |
| 9月6日（火）  | 瀬戸内市立国府小学校     |
| 9月6日（火）  | 瀬戸内市立美和小学校     |
| 9月8日（木）  | 吉備中央町立下竹荘小学校   |
| 9月9日（金）  | 倉敷市立川辺小学校      |
| 9月12日（月） | 吉備中央町立上竹荘小学校   |
| 9月12日（月） | 吉備中央町立上竹荘保育園   |
| 9月13日（火） | 倉敷市立老松幼稚園      |
| 9月15日（木） | 吉備中央町立御北小学校    |
| 9月15日（木） | 吉備中央町立御北幼稚園    |
| 9月16日（金） | 玉野市立八浜小学校      |

② 2回目

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 12月20日（火） | 岡山市立福島小学校   |
| 12月21日（水） | 吉備中央町立豊野保育園 |
| 12月22日（木） | 高梁市立高梁小学校   |
| 12月22日（木） | 高梁市立高梁幼稚園   |
| 12月23日（金） | 岡山市立中央小学校   |
| 1月10日（火）  | 吉備中央町立円城小学校 |
| 1月10日（火）  | にこにこふたばこども園 |
| 1月12日（木）  | 吉備中央町立豊野小学校 |
| 1月13日（金）  | 笠岡市立北川小学校   |
| 1月16日（月）  | 久米南町立弓削小学校  |
| 1月16日（月）  | 久米南町立神目小学校  |
| 1月17日（火）  | 吉備中央町立吉川小学校 |

- 1月17日(火) 子育て支援センターはぴはぴ
- 1月18日(水) 久米南町立誕生寺小学校
- 1月24日(火) 倉敷市立乙島小学校
- 1月27日(金) 岡山市立芥子山小学校
- 1月30日(月) 総社市立清音小学校

(2) 参加者

延べ5,335人

(3) 企画・運営のポイント

- ① 今年度は終業式や始業式の前後に実施することで、子どもたちの気が緩みやすい長期休み中や長期休み明けに効果的に意識付けをした。
- ② 昨年度は15学校園の訪問だったが、今年度は32学校園へ訪問し、より多くの人に参加してもらうことができた。

3. 活動の内容等

(1) 日程

① あいさつ活動

7:20	打合せ 動線確認 更衣
7:45	校門あいさつ運動開始
8:10	校門あいさつ運動終了

② ふれあい活動

8:00	打合せ 動線確認 更衣
8:30	教室ふれあい活動開始
8:45	教室ふれあい活動終了

③ あいさつ運動、講話、〇×クイズ

7:20	打合せ 動線確認 更衣
7:40	校門あいさつ運動開始
8:00	校門あいさつ運動終了
8:20	全校集会にて講話、〇×クイズ開始
8:30	全校集会にて講話、〇×クイズ終了

④ 絵本の読み聞かせ、〇×クイズ

9:40	打合せ 動線確認 更衣
10:00	教室にて絵本の読み聞かせ、〇×クイズ開始
10:30	教室にて絵本の読み聞かせ、〇×クイズ終了

⑤ あいさつ運動、絵本の読み聞かせ、〇×クイズ

7:30	打合せ 動線確認 更衣
7:45	校門あいさつ運動開始
8:10	校門あいさつ運動終了
8:30	教室にて絵本の読み聞かせ、〇×クイズ開始
8:50	教室にて絵本の読み聞かせ、〇×クイズ終了

## (2) 活動の状況



【あいさつ活動(小学校)】



【ふれあい活動(幼稚園)】



【あいさつ活動(小学校)】



【ふれあい活動(保育園)】



【講話】



【絵本の読み聞かせ】

## 4. 成果・課題

### (1) 満足度

満足：100%

### (2) 参加者の声

- ① 学校でのあいさつ運動に来ていただいたので、子どもたちも喜んであいさつができた。

- ② 子どもたちがはやおきくんとふれあい、とても楽しそうだった。早起きや朝ごはんについて話題にするきっかけとなった。
- ③ 絵本がわかりやすく、○×クイズでふりかえれたことがよかったです。楽しみながら参加している子が多かったです。
- ④ 年長児は「遅寝遅起き朝ごはん抜き」は自分のことだと思いながら聞いている子が多かったです。翌日からおうちの方に協力してもらって「早寝早起き朝ごはん」ができるようにしようと声をかけると、保護者の方も一緒に取り組んでくださいました。すると、朝から調子が良い子が多く、様々なことに意欲的になっています。
- ⑤ 年中児は「早起きの魔法で早く起きたよ」「朝ごはん食べてきたよ」と自分から保育教諭に伝える姿があり、意識できるようになっていると感じた。

### (3) 成果

- ① 小学校では、朝のあいさつ運動や講話を通して基本的な生活習慣の大切さを伝えることができた。特に、着ぐるみを着用することで、子どもたちに親しみやすさを与えることができ、効果的に早寝早起き朝ごはんに対する意識付けを行うことができた。
- ② 希望のあった学校園には絵本やステップガイドの配布を行い、生活リズムや早寝早起き朝ごはんについて、学校や園で指導するきっかけを作ることができた。また、保護者会などで保護者向けのガイドやポケットレシピも配布していただくなど、子どもだけでなく家族で早寝早起き朝ごはんに取り組むきっかけを作ることができた。

### (4) 今後の課題

何度も講話を依頼してくださる学校園やつながりのある学校園を中心に実施したため、来年度はホームページでの広報も展開するなど新規の学校園でも申し込みをしやすい体制づくりを図っていく必要がある。

担当：企画指導専門職付 角田 怜那

## 令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

きてみられえ キビのもり！

### 1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

幼児とその家族を対象に、吉備高原での自然体験や自然に関する絵本の読み聞かせを通して、自然への関心を高め、豊かな感性を育む。

### 2. 事業の概要

#### （1）期日

令和4年5月22日（日）日帰り

#### （2）参加者

- ①募集対象・人数 幼児とその家族・10家族40名程度
- ②参加人数 9家族35人 【申込人数 12家族44人】

#### （3）講師等

中村 史恵 氏（絵本専門士）

#### （4）企画・運営のポイント

- ① 活動プログラムについて、絵本の読み聞かせとハイキングにつながりを持たせるために、絵本専門士の方と事前に打ち合わせをした。読み聞かせで使った絵本に関する制作を行い、ハイキングで制作物を使った活動を行った。
- ② 2～3家族ずつの班を作り、家族同士の交流ができるようにした。
- ③ 実施に際しては、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、消毒液の設置や活動部屋の換気をしながら運営を行うようにした。

### 3. 活動の内容等

#### （1）日程

5月22日（日）	
10:00	受付
10:30	開会式
11:00	「絵本の読み聞かせ」
12:00	昼食
13:00	「キビのもりハイキング」
15:00	閉会式

## (2) 活動の状況



【開会式 自己紹介】



【絵本の読み聞かせ①】



【絵本の読み聞かせ②】



【キビのもりハイキング①】



【キビのもりハイキング②】



【制作物を班で共有】

## 4. 成果・課題

### (1) 満足度

満足：78% やや満足：11% やや不満：11%

### (2) 参加者の声

- ① 低学年も幼児も楽しく過ごせました。
- ② ボランティアの方もたくさんいて、とても楽しく参加することができました。
- ③ 絵本の時に子供たちが飽きてしまっていました。もう少し興味のわく内容だとよかったと思いました。

### (3) 成果

- ① 絵本とハイキングにつながりがあることで、活動に流れを作ることができた。
- ② ハイキングでは植物だけでなく、石や空を触る・感じることができ、作品に個性が出ており、自分らしさが表現できていた。また、作品を通して、家族だけでなく子供たち同士や親同士、ボランティアとも会話する姿が見られた。
- ③ 今回は初めてボランティアに参加する人も多くいたが、先輩ボランティアと組んで班付きボランティアとしたため、先輩ボランティアの姿を見る機会にもなった。

### (4) 今後の課題

絵本の読み聞かせの時間について、数種類の本の読み聞かせのあとに制作を行ったため、単調に読み聞かせを行う時間が長くなってしまい、子どもたちが少し飽きてしまった。今回は2種類の制作を行ったため「絵本→制作」を2回するという流れのほうが子どもたちにはわかりやすく、飽きずにできたと考えられる。絵本専門士の方との綿密な打ち合わせが必要である。

担当：企画指導専門職付 角田 怜那

令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
リズムック\*トラベラー

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

自然の中で生まれる人間のエネルギーを音楽へと昇華して、家族や仲間と喜びや楽しさを共有する。電子テクノロジーの活用により、誰しものがアンサンブルを体験することができる。

2. 事業の概要

(1) 共催 公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団

(2) 期日

令和4年7月9日（土） 7月10日（日） 日帰り2日

(3) 参加者

- ① 募集対象・人数 出前事業を受講した小学生とその家族・各日15家族程度
- ② 参加人数 9日：10家族26人 【申込人数 20家族60人】  
10日：12家族40人 【申込人数 17家族56人】

(4) 講師等

MASAKing 氏（ミュージシャン）

(5) 企画・運営のポイント

- ① 室内だけでなく屋外に出て活動することで、自然を感じてもらいながらボディパーカッションを楽しむことができた。
- ② 電子楽器や音楽アプリの体験を4グループに分かれて行うことで、子どもたちだけでなく保護者も含めて体験してもらい、アンサンブルを行うことができた。

3. 活動の内容等

(1) 日程

7月9日（土）、10日（日）	
9:30	受付
10:00	開会式
10:15	アイスブレイク・ボディパーカッション
11:30	昼食・休憩
13:00	電子楽器体験（HANDSONIC・音楽アプリ）・アンサンブル
15:20	ミニコンサート
15:45	閉会式

## (2) 活動の状況



【ボディパーカッション】



【自然の中でボディパーカッション】



【HANDSONIC 体験】



【音楽アプリ体験】



【アンサンブル】



【電子ドラム体験】

## 4. 成果・課題

(1) 満足度 満足：100%

### (2) 参加者の声

- ① 今まで子どもと音楽イベントに行ったことがなかったので、どんなことをするのかドキドキしていましたが、様々な楽器に触れ、テクノロジーに驚かされ、いろいろと刺激になりました。
- ② 自分のスマホに入っていたアプリを体験できたので、使い方が知れてよかった。
- ③ 音楽が大好きな息子と1日過ごし、本当に楽しそうな姿が見られて幸せでした。これからも音楽を通して子どもとのコミュニケーションを楽しんでいきたいと思えます。

### (3) 成果

- ① 広場での活動の際には、静かにして自然の音を聞いたりして、室内とは違ったボディパーカッションを楽しむことができた。
- ② 無料の音楽アプリを使って演奏体験やアンサンブルをしたため、家に帰ってからも音楽を楽しんでもらうきっかけになったと考えられる。

### (4) 今後の課題

- ① 共催事業のためキャンセル連絡がそれぞれに来たため、今後は窓口を1つにし、情報共有を密に行う必要がある。
- ② 当日キャンセルが複数名出た要因として、申込期間が長いこと早く申し込んだ人は参加決定の連絡まで1か月ほどあった。この期間を短くすることでキャンセル減少につながると考えられる。
- ③ 企画や準備を円滑に行うために、協定書で役割分担について明らかにする必要がある。

担当：企画指導専門職付 角田 怜那

**令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
桃太郎チャレンジ2022**

## 1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

小学校中学年という人間関係の大きな発達段階にある子供たちが、自然の中で共に宿泊体験や自然体験活動を通して、コミュニケーション力を高め、協力してよりよい集団生活を築こうとする態度や、自ら困難なことにもチャレンジし、自分自身を認めようとする心情を育む。

## 2. 事業の概要

### （1）期日

令和4年8月18日（木）～8月20日（土）2泊3日

（新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認されたため中止）

#### 【当初の予定】

令和4年8月18日（木）～8月24日（水）6泊7日

### （2）参加者

#### ① 募集対象・人数

全日程に参加できる小学校3・4年生 24人

#### ② 参加人数

24人

### （3）企画・運営のポイント

- ① 岡山県の育みたい資質能力の一つ「郷土岡山を大切にする心」と国立吉備青少年自然の家のキャッチフレーズである「桃太郎のさと 吉備」を絡めた事業運営を心がけた。
- ② プログラム開発の目的も兼ねており、昨年度に実施した「弓矢づくり」の経験を活かしつつ、より効率的かつ安全にできる道具の選定と時間設定を行った。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者に抗原検査キットを事前に配布し、陰性だった者のみの参加とした。また、朝夕の検温、屋内の活動ではマスクの着用および換気、活動前後のアルコールによる手指消毒を徹底した。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程

日数	日付	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1日目	8/18(木)								開 会 式	オ リ エ ン テ ー ジ ョ ン	昼 食 (レ ス ト ラ ン)	仲 間 づ く り ゲ ー ム ル ー ル 作 り		野 外 調 理			振 り 返 り	入 浴 (ロ ジ )	就 寝 (ロ ジ )	
2日目	8/19(金)		就 寝	起 床 清 掃	野 外 調 理	桃 太 郎 体 験 ① (弓 矢 づ く り)	昼 食 (レ ス ト ラ ン)	テ ン ト 設 営	以 降 中 止			火 か ら 起 こ す 吉 備 団 子 づ く り + 野 外 調 理			振 り 返 り	シャ ワ ー	就 寝 (テ ン ト)			
3日目	8/20(土)		就 寝	起 床 清 掃	野 外 調 理	桃 太 郎 体 験 ② (ア ド ベ ン チ ャ ー オ リ エ ン テ ー リ ン グ) 昼 食 (レ ス ト ラ ン 弁 当)	荷 物 整 理	バ ス 移 動	テ ン ト 設 営	野 外 調 理	入 浴 (岡 山 み や び 温 泉 大 家 族 の 湯)					振 り 返 り	就 寝 (テ ン ト)			
4日目	8/21(日)	就 寝	起 床 清 掃 テ ン ト 撤 収	野 外 調 理	も も こ 広 場 ～ 吉 備 津 彦 神 社 ～ 吉 備 中 山 ～ 吉 備 津 神 社 ～ 鯉 喰 神 社 ～ 岡 山 市 立 加 茂 小 学 校 昼 食 (レ ス ト ラ ン 弁 当)	ロ ン グ ウ ォ ー ク ① 約 10km	移 動	西 備 津 彦 神 社	入 浴 (瀬 戸 大 橋 温 泉 や ま 幸)	テ ン ト 設 営	夕 食 (レ ス ト ラ ン 弁 当)	振 り 返 り	就 寝 準 備 (自 由)				就 寝 (テ ン ト)			
5日目	8/22(月)	就 寝	起 床 清 掃 テ ン ト 撤 収	朝 食 (レ ス ト ラ ン 弁 当)	岡 山 市 立 加 茂 小 学 校 ～ 砂 川 公 園	ロ ン グ ウ ォ ー ク ② 約 9km	休 息	入 浴 (吉 備 路 温 泉)	テ ン ト 設 営	野 外 調 理	振 り 返 り	就 寝 準 備	就 寝 (テ ン ト)							
6日目	8/23(火)	就 寝	起 床 清 掃 テ ン ト 撤 収	野 外 調 理	砂 川 公 園 ～ 鬼 ノ 城 ～ 奥 坂 休 憩 所	ロ ン グ ウ ォ ー ク ③ 約 9km	休 息	バ ス 移 動	荷 物 移 動	就 寝 準 備	振 り 返 り 発 表 準 備	夕 食 (レ ス ト ラ ン)	入 浴	キ ャ ン ド ル の つ ど い 振 り 返 り			就 寝 (宿 泊 棟)			
7日目	8/24(水)	就 寝	起 床 清 掃	朝 食 (レ ス ト ラ ン)	移 動	振 り 返 り 閉 会 式 の 発 表 準 備	閉 会 式													

#### (2) 活動の状況



【仲間づくり】



【野外炊事】



【弓矢づくり①】



【弓矢づくり②】



【テント設営①】



【テント設営②】



【火起こし体験】



【吉備団子づくり】



【アドベンチャーオリエンテーリング①】



【アドベンチャーオリエンテーリング②】

#### 4. 成果・課題

##### (1) 満足度

満足 46%、やや満足 15%、やや不満 31%、不満 8%

##### (2) 参加者の声

中止したためなし

##### (3) 成果

- ① 2泊3日と予定より短い期間になったが、クラフト・火起こし・オリエンテーリング・野外炊事・テント泊など、多くの活動を行う日程は実施することができたため、大人数でのキャンプの楽しさを体験することができた。
- ② アドベンチャーオリエンテーリングでは、岩場等の難所でリュックを持ってあげたり簡単なルートのアドバイスをしたりと、班で励まし合いながら全員元気に歩ききることができた。

##### (4) 今後の課題

- ① 弓矢づくりについて、弓の大きさが長すぎると体の小さい児童は弦がうまく引けないことがあった。また、矢に加工する細めの竹も重さによって向き不向きがあるため、いろいろな大きさの物を用意して自分に合った竹を選ぶ必要がある。
- ② キャンプの実施前に抗原検査を行い、朝夕の検温を毎日実施したが新型コロナウイルスの陽性者が出てしまった。発覚した時点で事業を中止としたことで、幸いにもクラスターにはならなかった。来年度に実施する際は、更なる対策を講じる必要がある。

担当：企画指導専門職付 西川 和志

令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
森のたんけんたい2022

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

吉備の秋を感じながら自然に親しむ活動を通して、自然体験や自然の大切さを理解するとともに、家族のきずなや家族間の交流を深める。

2. 事業の概要

(1) 共催 株式会社おもちゃ王国（以下、「おもちゃ王国」と表記）

(2) 期日

令和4年10月15日（土）～10月16日（日）1泊2日

(3) 参加者

- ① 募集対象・人数 4歳～小学低学年の子供とその家族・10家族35人程度
- ② 参加人数 9家族32人 【申込人数：81家族221人】

(4) 講師等

森 結希 氏（絵本専門士）

(5) 企画・運営のポイント

- ① 絵本専門士の方と事前に打ち合わせを行い、自然にまつわる絵本を読み聞かせに使うことで、その後の活動とつながりを持たせることができた。
- ② 民間企業との共催事業として、おもちゃ王国と協定を結び、互いの役割分担を明確にするとともに、来所や電話での打合せを繰り返し行いながら準備に取り組んだ。
- ③ 活動時間に余裕を持たせることで、空き時間に周辺の散策、所内のアスレチックで遊ぶなど、家族ごとに自然を楽しむ時間を作ることができた。
- ④ コース案内や景品などにおもちゃ王国のグッズを活用し、子供たちが喜ぶ雰囲気作りに努めた。

3. 活動の内容等

(1) 日程

10月15日（土）		10月16日（日）	
13:00	受付	6:45	起床・洗面・清掃
13:30	開会式	8:00	朝食
14:00	「絵本の読み聞かせ」	9:00	清掃・点検
15:00	「トレジャーウォーク・ ブラインドウォーク・ 裸足でチャレンジ」	10:00	「焼きマシュマロ・カートンドック」
		13:00	閉会式
17:30	夕食		
18:30	「キャンプファイヤー」		
20:00	入浴		
21:00	就寝準備		
22:00	就寝		

## (2) 活動の状況



【アイスブレイク】



【絵本の読み聞かせ】



【トレジャーウォーク】



【キャンプファイヤー】



【焼きマシュマロ】



【カードドッグ】

## 4. 成果・課題

### (1) 満足度

満足：88% やや満足：12%

### (2) 参加者の声

- ① キャンプファイヤーや野外炊事など子どもたちにとっても初めての体験をさせてもらい、とても満足しています。
- ② 絵本専門士の存在を初めて知った。知らない絵本ばかりでおもしろかったです。
- ③ 薪割りや自分たちで一から火をつけて楽しかったです。
- ④ キャンプファイヤーの火が思ったより大きく、ゲームも楽しかったです。
- ⑤ トレジャーウォークは自然に親しめる内容で、4歳も小学生も一緒に楽しめてよかったです。

### (3) 成果

- ① おもちゃ王国との協定を例年に比べ、早めの時期から進めることができたことで、スムーズな運営を行うことができた。
- ② 薪割り、焚火台での火起こしは密にならず、幼児でも安全に行うことができた。スタッフが多かったことも安全に行えた要因の一つである。
- ③ 野外炊事では2～3家族ずつの班を作り、家族同士の交流ができるようにしたことで、親同士、子ども同士など1日目ではあまり見られなかった家族の枠を越えた関わりが見られた。

### (4) 今後の課題

1日目は家族ごとの活動が多かったため、キャンプファイヤーでは他の家族との交流が少なかったように感じた。しかし、参加者からは「家族の絆が深まった」との感想もあり、家族ごとの時間を取ることも大切であるため、家族だけの時間と、他の家族との交流をはかる時間のバランスを検討したい。

担当：企画指導専門職付 角田 怜那



## 令和4年度体験活動普及啓発事業

チアフルデー ～ありがとう！きびの森！40周年大感謝でえ～

### 1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

親子で自然体験活動を楽しむことで、親子のふれあいの大切さを感じたり、他の家族との交流を深めたりすることをねらいとする。

子供の健やかな成長に体験がいかに大切かを広く発信し、社会全体で体験活動を推進する機運を高めることを目的とする。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

前夜祭：令和4年11月12日（土）～11月13日（日）1泊2日

本祭：令和4年11月13日（日）日帰り

#### (2) 参加者

##### ① 募集対象・人数

一般（幼児から大人まで）400人（前夜祭80人、本祭320人）

##### ② 参加人数

前夜祭18家族（60人） 本祭49家族（167人）

#### (3) 講師等

石原 恵以子 氏（絵本専門士）

岡山県キャンプ協会 指導員

国立吉備青少年自然の家 外部研修指導員

#### (4) 企画・運営のポイント

- ① 40周年を記念してドローンによる航空写真を撮影することで、参加者の記念になるようにした。
- ② 県下の社会教育団体に声をかけ、展示やブース出展に協力してもらうことで、様々な団体の活動を理解してもらえる機会にした。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前夜祭から参加して宿泊する家族は、家族単位での部屋での宿泊とした。
- ④ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受付での検温、宿泊家族に消毒用アルコールボトルの提供、部屋の換気、職員による食事の配膳などを行った。
- ⑤ 前夜祭からの参加者には、活動時間に余裕を持たせたり、2班に分けて夜の活動を行ったりすることで、家族同士が交流する時間を取りやすくした。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本祭の参加者を400人に制限し、参加は自由参加とせず事前申込み制とし、抽選で参加者を決定した。
- ⑦ 申込フォームを簡略化し、申込時の時間や手間がかからないようにした。
- ⑧ オリンピックレガシーの展示と遊びリンピックを同じ場所であるプレイホールで行うことで、互いのブースが盛り上がるようにした。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程

11月12日(土) 前夜祭	
16:00	受付(玄関)
16:30	開会行事
17:00	入室、就寝準備(宿泊室)
17:30	夕食(レストラン)
18:30	選択活動 ①絵本読み聞かせ(ふれあいホール) ②天体観察(天体観察棟)
20:00	入浴(生活関連棟)・休憩(宿泊室)
22:00	就寝(宿泊室)
11月13日(日) チアフルデー	
6:45	起床・洗面・清掃・荷物移動(宿泊室)
8:00	朝食(レストラン)
ここまでが前夜祭	
9:00	チアフルデー ②カッター活動(鳴滝湖) ②吉備の森自然探検隊(雨天のためチャレンジルーム) ③樹木ビンゴ de ハイキング(所内) ④フィールドアスレチック(ウーリーのぼうけんひろば) ⑤おもしろ自転車(つどいの広場) ⑥吉備の紹介コーナー&ボーイスカウト展示(オリエンテーションルーム) ⑦授乳室+ちびっ子ルーム(学習室1) ⑧遊びリンピック(プレイホール、学習室2) ⑨クラフト(学習室3) ⑩絵本広場(グリーンルーム) ⑪ペタンク・カプラ(ふれあいホール) ⑫岡山県キャンプ協会によるクラフト(ラウンジ) ⑬岡崎嘉平太写真展示(レストラン前) ⑭オリンピックレガシー展示(プレイホール) ⑮40周年記念航空写真撮影(下の広場)
15:30	終了・解散

※昼食・・・レストラン3交代制(①11:15~12:00、②12:00~12:45、③12:45~13:30)

(2) 活動の状況



【開会行事】



【前夜祭・天体観察①】



【前夜祭・天体観察②】



【前夜祭・絵本読み聞かせ①】



【前夜祭・絵本読み聞かせ②】



【受付】



【カッター活動①】



【カッター活動②】



【吉備の森自然探検隊】



【遊びリンピック①】



【遊びリンピック②】



【遊びリンピック③】



【岡山県キャンプ協会】



【吉備&ボーイスカウト展示】



【カプラ】



【ペタンク】



【クラフトコーナー①】



【クラフトコーナー②】



【オリンピックレガシー】



【40周年記念航空写真撮影①】



【40周年記念航空写真撮影②】



【40周年記念航空写真撮影③】

#### 4. 成果・課題

##### (1) 満足度

満足：81% やや満足：19%

##### (2) 参加者の声

- ① 子供がさわわる木などが磨かれていて、安全に遊ぶことができました。
- ② 体験型のイベントが多くて、よい刺激をいただきました。子供たちもとても楽しんでいました。
- ③ スタッフの皆さんがどなたも優しく、とても楽しめました。
- ④ あいにくの天気で参加を迷いましたが、多くのブースが解放されていて、貴重な体験ができました。来てよかったです。
- ⑤ 1日では時間が足りないうらい楽しめました。
- ⑥ 久しぶりに家族で楽しく過ごせました。いい思い出ができました。
- ⑦ コロナ対策がとられていて、安心して食事や活動ができました。

##### (3) 成果

- ① 40周年を記念して、他の社会教育団体にも展示やブース協力をしてもらおうことで、参加者により多くの種類の体験を提供することができた。
- ② 前夜祭は、普段家族単位では利用しにくいプログラムとして、絵本の読み聞かせと天体観察を入れたことで、どちらも大変盛り上がった。
- ③ プレイホールに遊びリンピックとオリンピックレガシーを設置したことで、互いのブースに関連性が生まれ、より活動が盛り上がった。
- ④ 雨天実施の経験がなかったが、本祭のスタート時に雨が降ったので、天候の状況を見ながら臨機応変に実施することができ、ノウハウの習得にもつながった。

- ⑤ 40周年記念航空写真撮影の参加者は事前に募集していたが、当日キャンセルが多く出てしまい、急遽、放送などで参加者を募って協力を得ることができ、「キビ40」の人文書の撮影を行うことができた。
- ⑥ 受付時での検温・消毒の実施、屋内でのマスク着用、部屋の換気、スタッフのマスク着用など、感染拡大防止対策を徹底した。職員・ボランティアで共通理解することで参加者に安全に活動を体験していただくことができた。
- ⑦ ブース数は多かったが、事前展示を行うことで、余裕をもって準備することができた。

#### (4) 今後の課題

- ① 新型コロナウイルスの影響や天候によって多くの当日キャンセルが出たり、連絡なしに来られない家族も多かったりした。また、県の他のイベントと日程が重なり、警備員の確保や他団体の協力などに影響が出た。大きな事業なので、早めに準備を進めたいところではあるが、社会の情勢や他のイベントなどの動向も踏まえながら、計画的に且つ柔軟に企画していく必要がある。
- ② キャンセル対応について方針は定めていたが、天候により想定以上のキャンセルが入り、対応に追われた。天候にかかわらず、キャンセルが出ないような内容を考えていきたい。
- ③ 今年度も定員を上回る応募（約2.3倍）があり参加決定は抽選となった。2年前から事前申込み制にしているが、人数制限のある活動の調整やレストランの食数の把握には有効な反面、登録情報の確認や抽選後の連絡等にかなりの時間が必要となる。昨年度の反省をもとに業務の精選と割り振りをしていたが、主担当から外せない役割が多く、社会の動向と業務負担のバランスを考えながら、申込の形式を考えていく必要がある。
- ④ 前夜祭から関わるスタッフは昨年と比べ多かったが、当日の総スタッフ数は昨年度より少なくなっており、時間帯によって、手薄になるブースがあった。安心安全で効果的な運営を行うために、スタッフの確保に努める必要がある。
- ⑤ 他の社会教育団体に協力していただいたおかげで、多くの展示やブースを運営することができたが、連絡や打合せにかなりの時間がかかり、申請などの事務負担も大きかった。適切な担当や業務の割り振りを考えていきたい。

担当：主任企画指導専門職 延原 正章

## 令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

新春！親子で書道体験～日本の正月文化も楽しもう！～

### 1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

日本の伝統文化の一つである「書」活動について、青少年の文化体験活動の裾野をより広げるとともに、「書」自体を楽しむ活動を通して、「書」に親しみをもつ。また、書道以外にもお正月の昔遊びを通して日本の伝統文化に触れる機会を設ける。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

令和5年1月7日（土）～1月8日（日）1泊2日

#### (2) 参加者

##### ① 募集対象・人数

小学生とその家族・10家族30人程度

##### ② 参加人数

9家族27人

#### (3) 講師等

1日目 岡山県立矢掛高等学校書道部

#### (4) 企画・運営のポイント

- ① 岡山県立矢掛高等学校書道部に講師として来ていただき、書道パフォーマンスを鑑賞して、書初め指導を受けることで、書道への関心を深めてもらうようにした。
- ② 1日目に凧作り用の書初めを作成し、それを活用して、2日目の凧作りに使用することで、2日間の活動の流れを作った。
- ③ 凧作り、凧揚げでは事前に担当で、どの形が飛びやすいか、竹ひご、凧糸などの準備物ほどの程度準備すれば作成が簡単になるかなど様々なパターンを試作し、活動がスムーズに行えるようにした。
- ④ お正月遊びの活動では福笑い、かるた・百人一首、こま回し、けん玉の4つのブースを作り、活動時間中に時間を区切ることなく、自分の興味のあるブースに参加できるようにした。
- ⑤ 開催時期の早朝は、道路の凍結の可能性が予測されたため、開始時間を午前中ではなく、午後からにすることで、冬用タイヤを装着していない参加者も安心して来やすくなるようにした。

### 3. 活動の内容等

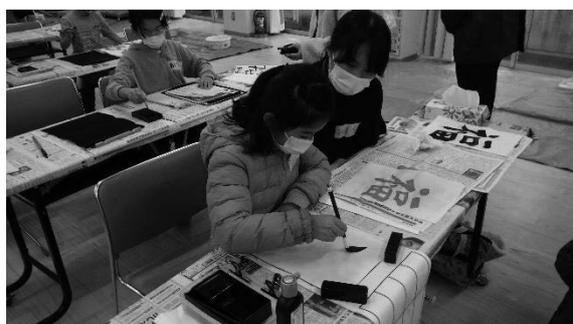
#### (1) 日程

1月7日(土)		1月8日(日)	
13:30	J R岡山駅西口バス送迎(希望者)	6:45	起床・清掃
14:30	受付	7:30	宿泊室点検
15:00	開会式	8:00	朝食
15:30	書道パフォーマンス 書初め体験	9:00	凧作り 凧揚げ
17:30	休憩・寝具説明	12:00	昼食
18:00	夕食	13:00	閉会式
19:00	お正月遊び	13:30	解散 J R岡山駅西口バス送迎(希望者)
20:00	入浴		
21:00	就寝準備		
22:00	就寝		

#### (2) 活動の状況



【書道パフォーマンス】



【書初め①】



【書初め②】



【お正月遊び①】



【お正月遊び②】



【凧作り】



【凧揚げ①】



【凧揚げ②】

#### 4. 成果・課題

##### (1) 満足度

- ① 満足：100%

##### (2) 参加者の声

- ① 書道パフォーマンスがとても印象に残りました。その後に実際にお姉さんたちに習字を指導してもらえたのも良かったです。
- ② タイトルにある書道はもちろん、お正月遊びや凧作り、凧揚げを通じて良い経験になりました。特に凧は滅多に揚げることがないので、良かったです。
- ③ 小3の娘が担任の先生にチラシをもらってきて、興味を持ったので申し込みました。貴重な体験をたくさんさせていただき感激しました。用意など至れり尽くせり、スタッフの皆さまに優しくしていただき本当にありがとうございました。
- ④ 習字が小学校でもあまりやっていないので良かったです。また、大人も楽しむことができました。
- ⑤ とても楽しくて、またぜひ来年も企画を行って欲しいです。

##### (3) 成果

- ① 岡山県立矢掛高等学校書道部に講師として来ていただき、書道パフォーマンスを鑑賞して、書初め指導では自分たちの書きたい文字をその場で書いてもらって指導を受けることができ、参加者から好評を得ることができた。
- ② 書道以外にも、福笑いやかるたなどのお正月遊びや、凧作り・凧揚げを体験することによって様々な日本のお正月文化に触れることができた。
- ③ 自分で凧を作って揚げる体験をしたことがない児童が多く、屋外で電線や家などを気にすることなく存分に凧揚げを楽しんでもらうことができた。

##### (4) 今後の課題

- ① 凧作りでは時間内に作成を完了できるか不安であったため、事前に担当職員たちで凧の形を切ったり、竹ひごや凧糸などを適切な長さで用意したりするなどの準備をした。その結果、時間通りにスムーズに活動を進めることができた。ただし、事前準備の時間がかかりかかったため、来年度はどこまで準備するか、参加者にどこまでやってもらうかを検討する必要がある。
- ② 昨年度参加者集めに苦労したことから、今年度は募集の対象を小学生全学年に広げた。学校で書道をまだ習っていない低学年の児童も参加したが、保護者が付

き添っていたため楽しんでいる様子が見られた。ただし、書道道具を持っていない、基礎が身に付いていないなどの問題点もあるので対象の年齢設定を再考する必要がある。

- ③ 事業実施日が1月7日であり、日本の正月をテーマにしたイベントであるならば、食事に七草がゆを取り入れることも考えられた。体験活動だけでなく食事の面からも日本の正月文化にアプローチすることを検討したい。

担当：企画指導専門職付 小城 洋介

**令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
ウーリードリーム教室**

**1. 事業の目的（趣旨・ねらい）**

岡山県内に活動拠点を置き、地域に密着して活動し、日本のトップリーグ等で活躍しているスポーツチームによる指導を通して、スポーツに親しむきっかけ作りや夢を持つことの大切さ、郷土を愛する気持ちを育てることを目的とする。

**2. 事業の概要**

**(1) 期日**

令和5年1月28日（土） 日帰り

**(2) 参加者**

- ① 募集対象・人数 岡山県内の幼児とその家族・15家族40人程度
- ② 参加人数 13家族41人

**(3) 講師等**

- 押鐘 正幸 氏 （ファジアーノ岡山 普及・グラスルーツダイレクター）
- 福中 善久 氏 （ファジアーノ岡山 スクールコーチ）
- 内海 賢也 氏 （ファジアーノ岡山 スクールコーチ）

**(4) 企画・運営のポイント**

- ① 午前の遊びリンピックでは、午後のサッカー教室につながるようボールを使った競技や走る競技、ボールを蹴る競技を組み込んだ。
- ② 岡山県スポーツ協会の晴れの国トップアスリート派遣事業を活用し、ファジアーノ岡山のスクールコーチを招いてサッカー教室を実施した。
- ③ 0歳児など対象外の未就学児もいたため、活動するプレイホール内にはちびっこコーナー、授乳室やおむつ替え用として別室を準備するなどの対応を行った。

**3. 活動の内容等**

**(1) 日程**

1月28日（土）	
10:00	受付
10:30	開会式
11:00	「遊びリンピック」
12:00	昼食
13:00	移動・自由時間
14:00	「サッカー教室」
15:30	遊びリンピック表彰式・閉会式

## (2) 活動の状況



【遊びリンピック①】



【遊びリンピック②】



【遊びリンピック表彰式】



【サッカー教室①】



【サッカー教室②】



【サッカー教室③】

## 4. 成果・課題

### (1) 満足度

満足：70% やや満足：30%

### (2) 参加者の声

- ① 遊びリンピックでは何度も挑戦することが大事だと改めて感じました。参加してよかったです。
- ② 3人での参加でしたが、ボランティアの方が一緒にしてくださって子どもも嬉しそうでした。
- ③ サッカー教室はとても楽しく、1つ1つの言葉に親子でのふれあい方があり、勉強になり、心に響きました。
- ④ サッカー教室の時間をもっと取ってほしいです。

### (3) 成果

サッカーが初めての家族の参加が多かったため、家族とのふれあいを大切にしたい指導をお願いし、サッカー教室の時間に身体を動かすことを楽しむ時間も取り参加者にも好評であった。

### (4) 今後の課題

- ① サッカー教室の時間については、ファジアーノ岡山から幼児は普段90分程度で実施していると提案があり、90分の時間設定となった。時間に制限があるのであれば、サッカー教室の時間のうちサッカーをする時間をもう少し増やすなどの検討が必要である。
- ② 今回は積雪のため屋内での実施となり、多目的グラウンドへの移動がなくなったために散策もなくなった。参加者からは外での活動もしたいとの声があったため、積雪もなく晴天であれば屋外で実施したほうがよい。

担当：企画指導専門職付 角田 怜那



## 令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業 「キビキビ通学合宿」

### 1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

家庭から離れた共同生活の中で、様々な生活体験活動を通して、「生きる力」の基盤となる豊かな人間性や人間関係能力を高めるとともに、基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上を図る。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

事前体験：令和5年2月12日（日） 日帰り

本番：令和5年2月14日（火）～18日（土） 4泊5日

#### (2) 参加者

##### ① 事業対象・人数

吉備中央町内の小学3年生～6年生 24人

##### ② 参加人数

26人

#### (3) 企画・運営のポイント

- ① 合宿のテーマを「早寝早起き朝ごはん」とし、規則正しい就寝・起床のリズムを友達と揃えることに加え、洗濯や洗い物も自分たちで行うことで、日々の生活の中での準備・片付けの大変さを知るとともに、家族への感謝の気持ちを培うようにした。
- ② 班編成の際に学校および学年を分散させることで、他校の児童とふれあう機会を創出した。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として「抗原検査」を計4回（事前2回、事業中1回、事後1回）実施したほか、毎日2回の検温、宿泊場所の分散等を行った。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22			
事前体験 2月12日(日)					受付	入所式	オリエンテーション	昼食	キビキビ交流タイム (みんなであそぼう)		班会		帰宅							
本番 1日目 2月14日(火)							学校					キビキビ宿題タイム	決意式	夕食	キビキビ宿題タイム	キビキビ交流タイム	入浴	班会	就寝準備	就寝
本番 2日目 2月15日(水)		起床・清掃	洗面	朝食	登校		学校					キビキビ宿題タイム	夕食	キビキビ交流タイム	入浴	班会	就寝準備	就寝		
本番 3日目 2月16日(木)		起床・清掃	洗面	朝食	登校		学校					キビキビ宿題タイム	夕食	キビキビ交流タイム	入浴	班会	就寝準備	就寝		
本番 4日目 2月17日(金)		起床・清掃	洗面	朝食	登校		学校					キビキビ宿題タイム	夕食	キビキビ交流タイム	入浴	班会	就寝準備	就寝		
本番 5日目 2月18日(土)		起床・洗面	清掃	朝食	点検		キビキビ交流タイム (パウムターヘン作り)	退所式	解散											

#### (2) 活動の状況



【入所式】



【オリエンテーション】



【キビキビ交流タイム①】



【キビキビ交流タイム②】



【決意式】



【キビキビ宿題タイム①】



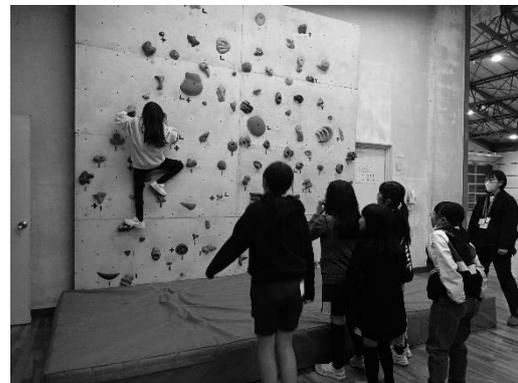
【ラジオ体操】



【登校の様子】



【キビキビ宿題タイム②】



【キビキビ交流タイム③】



【キビキビ交流タイム④】



【キビキビ交流タイム⑤】



【baumkuchen作り①】



【baumkuchen作り②】

#### 4. 成果・課題

##### (1) 満足度

満足：96% やや満足：4%

##### (2) 参加者の声

- ① 友達がたくさん増えたとし、みんなで遊んで楽しかった。
- ② 自分でいろんなこと（布団たたみなど）を家でもしたい。
- ③ 人にはやさしくしないといけないと思った。

##### (3) 成果

- ① 自由時間の活動を班で相談して決めることで、時間を半分ずつ使って違う活動を実施するなど、友達の意見を尊重する心を養うことができた。
- ② 3年～4年生の参加者が多い中、各班の5～6年生が移動の声掛けをしたり、水筒を洗う時や洗濯をする際に教えたりするなど、リーダーシップを発揮する場面が後半につれて多くなった。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として「抗原検査」を計4回（事前2回、事業中1回、事後1回）実施したほか、毎日2回の検温、宿泊場所の分散等を行った結果、途中に発熱等はあったものの全員が元気に通学合宿を終えることができた。

##### (4) 今後の課題

事前体験の日が地域のマラソン大会と重なってしまい、最初から参加することができる児童が8割ほどになってしまった。学校行事の他に、地域の催し等も情報収集をする必要がある。

担当：企画指導専門職付 西川 和志

令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
吉備の森 自然体験会

### 1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

当施設での宿泊を体験し、施設を知ってもらうとともに自然素材を利用した活動をとおして、自然に対する感性や探求心を高める。

### 2. 事業の概要

#### （1）期日

- 第1回 令和5年1月21日（土）～1月22日（日） 1泊2日  
 ≪自然がいっぱい冬のもり in 吉備≫
- 第2回 令和5年2月10日（金）～2月11日（土） 1泊2日  
 ≪どんぐりと友達になろう≫

#### （2）参加者

- ① 募集対象・人数 各回小学生とその家族・8家族程度
- ② 参加人数 第1回 3家族（8人）  
 第2回 5家族（15人）

#### （3）講師等

第1回 小見山 節夫 氏（森林インストラクター）

#### （4）企画・運営のポイント

- ① 参加者が自然をより身近に感じられるように、普段食べる機会のないどんぐりを使ったお菓子作りを行った。
- ② 講師に森林インストラクターを迎え、指導に協力いただいたり、自然に関する展示物を借用したりして活動を行った。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して、消毒液やビニール手袋を貸与し、家族ごとでの活動を中心に運営を行った。

### 3. 活動の内容等

#### （1）日程

1日目		2日目	
18:30	受付開始	6:45	起床・清掃
19:00	カプラ	8:00	朝食
20:30	入浴・休息	9:00	退所点検
21:30	就寝準備	9:30	各種プログラム
22:00	消灯	12:30	解散

## (2) 活動の状況

### 第1回 自然がいっぱい冬のもり in 吉備



【カプラ】



【樹木ビンゴ】



【どんぐりクッキーをつくろう！】

### 第2回 どんぐりと友達になろう



【どんぐりビンゴ】



【石臼体験】



【どんぐりパンをつくろう！】

## 4. 成果・課題

### (1) 満足度

満足：100%

### (2) 参加者の声

- ① 子ども達は大満足でした！やっぱり山や自然は楽しいですね！大人も楽しかったです。とても良い経験となりました。
- ② コロナのこともあり心配してましたが、少人数でとても良かったです。石臼体験など、日頃できない活動ができて良かったです。

### (3) 成果

- ① 第1回では大豆を挽く石臼体験コーナーを設け、子どもたちに好評だったため、第2回では実際に石臼でどんぐりの粉を挽き、どんぐりのお菓子を作る際の材料として使用したことから、活動につながりを持たせることができた。
- ② 各回とも、講師や自然に詳しい職員が指導したため、自然に関する様々な知識を取り入れた活動が実施できた。自然に興味を持ち、講師や職員へ積極的に質問をする子どもたちの姿が見られた。
- ③ 事業後にどんぐりに関心を持ったという参加者の声があった。

### (4) 今後の課題

- ① タイムスケジュールであったため、全体的に活動に余裕を持たせる必要がある。
- ② 家族ごとの活動が中心であったため、参加者同士のコミュニケーションが少なかったように感じる。2家族1班など、家族同士の交流が図れる工夫も検討する。

担当：事業推進係員 福永 萌